

水難事故のあらまし

～平成25年中の水難事故と救助活動状況～



岐 阜 県 警 察 本 部

目 次

第1	水難事故の発生状況	
1	概況 -----	1
2	過去10年間の発生状況 -----	2
3	月別発生状況 -----	3
4	場所別発生状況 -----	4
5	態様別発生状況 -----	5
6	曜日別発生状況 -----	6
7	原因別発生状況 -----	6
8	年齢別発生状況 -----	7
9	子ども（中学生以下）の水難事故発生状況 -----	8
10	高齢者の水難事故発生状況 -----	9
11	居住地別事故者数 -----	10
第2	水難救助活動の状況	
1	出動状況 -----	10
2	救助事例 -----	11
3	水難救助訓練実施状況 -----	11
4	小型船舶操縦士の養成 -----	12
第3	その他	
1	水上バイク等の事故防止対策 -----	12
2	水難事故防止広報活動 -----	13

表 紙 写 真
関市内長良川における警察・消防合同水難救助訓練
(平成25年7月撮影)

第1 水難事故の発生状況

1 概況

[平成25年中の岐阜県内における水難事故の発生状況]

発生36件（前年比+2件）、事故者45人（前年比+10人）

[事故者の内訳]

- 死亡 13人（前年比 -9人）
- 行方不明 1人（前年比 +1人）
- 負傷 14人（前年比 +11人）
- 無事救助 17人（前年比 +7人）

[主な特徴]

- 前年に比べ発生件数、事故者数ともに増加
- 全体の89%（32件）が河川で発生、うち44%（14件）が長良川と板取川で発生
- 水遊び中・水泳中の事故が最多（20件、前年比+10件）
増水中の飛騨川で水遊び中の児童2人が死亡、行方不明
- 70歳以上の高齢者の事故が多発（10件、うち5人が死亡）
- 15～19歳の事故が増加（9件 前年比+6件）

[水難事故の発生状況(前年比)]

区分 年別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
平成25年	36	45	13	1	3	11	17
平成24年	34	35	22	0	2	1	10
増減	+2	+10	-9	+1	+1	+10	+7



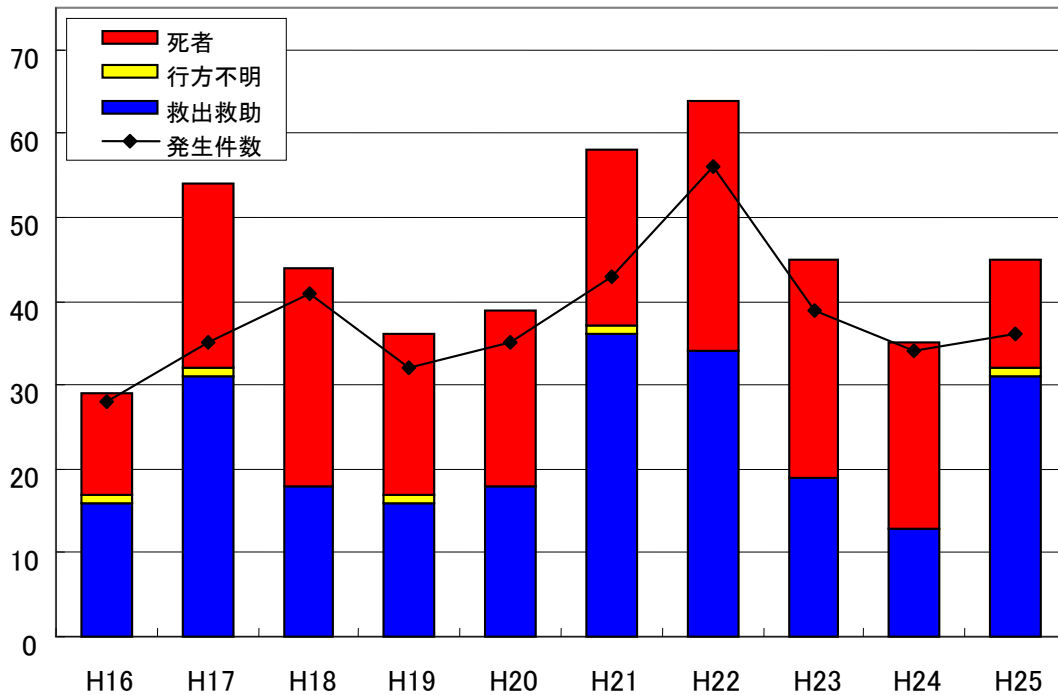
救命ボートによる救助訓練

2 過去10年間の発生状況

- 発生件数、事故者数ともに増加したものの、死亡は13人（前年比－9人）で、大幅に減少した。

[過去10年間の水難事故発生状況]

区分 年 別	発生件数 (件)	事 故 者 数 (人)			
		死亡	行方不明	救出救助	
平成16年	28	29	12	1	16
平成17年	35	54	22	1	31
平成18年	41	44	26		18
平成19年	32	36	19	1	16
平成20年	35	39	21		18
平成21年	43	58	21	1	36
平成22年	56	64	30		34
平成23年	39	45	26		19
平成24年	34	35	22		13
平成25年	36	45	13	1	31

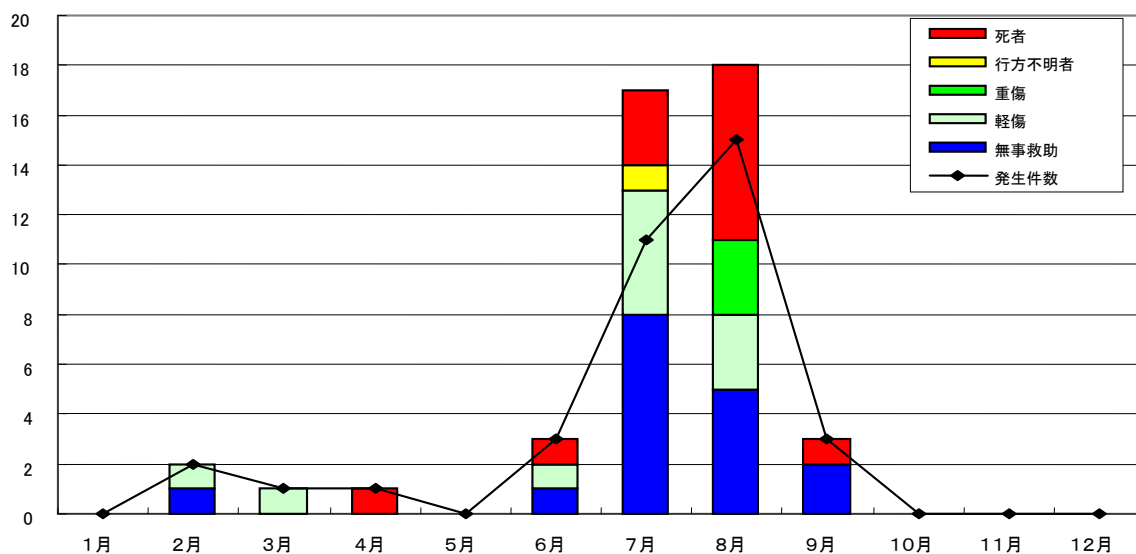


3 月別発生状況

○ 7月～8月の夏期シーズンの発生は、26件（前年比+5件）で全体の72%にあたり、うち死亡が10人（前年比±0）であった。

[月別発生状況]

区分 月別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
1月	0	0					
2月	2	2				1	1
3月	1	1				1	
4月	1	1	1				
5月	0	0					
6月	3	3	1			1	1
7月	11	17	3	1		5	8
8月	15	18	7		3	3	5
9月	3	3	1				2
10月	0	0					
11月	0	0					
12月	0	0					
合計	36	45	13	1	3	11	17

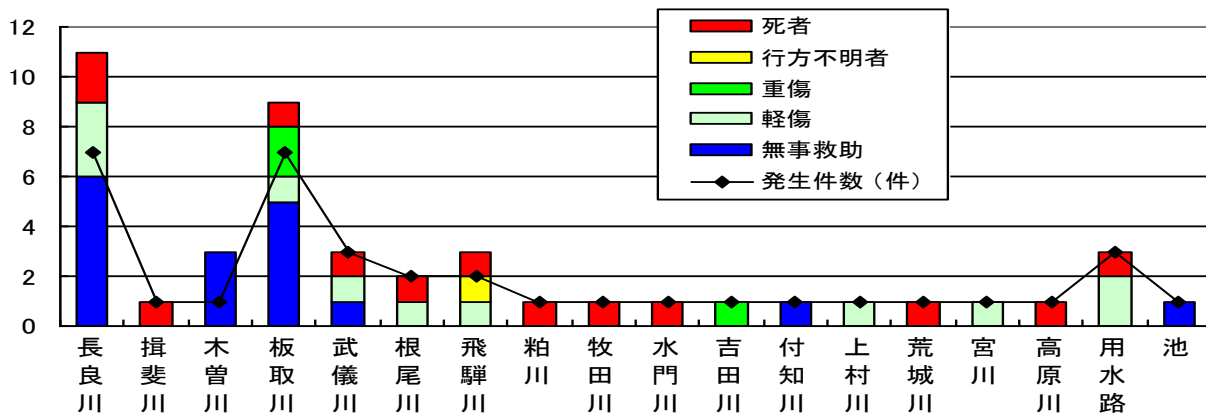


4 場所別発生状況

- 河川での事故が最も多く、32件（前年比+3件）が発生し、全体の89%に当たる。事故者数の内訳は、死亡12人（前年比-5人）、行方不明1人（前年比+1人）、救出救助28人（前年比+15人）であった。
- 河川別では、長良川での発生が7件（前年比-2件）で、うち死亡2人（前年比-3人）、救出救助9人（前年比+5人）、同じく板取川での発生が7件（前年比+4件）、うち、死亡1人（前年比-1人）、救出救助8人（前年比+7人）と2河川での発生が多かった。

[場所別発生状況]

場所別 区分	発生 件数 (件)	事 故 者 数 (人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
河 川	32	41	12	1	3	9	16
長良川	7	11	2			3	6
揖斐川	1	1	1				
木曾川	1	3					3
板取川	7	9	1		2	1	5
武儀川	3	3	1			1	1
根尾川	2	2	1			1	
飛驒川	2	3	1	1		1	
粕川	1	1	1				
牧田川	1	1	1				
水門川	1	1	1				
吉田川	1	1			1		
付知川	1	1					1
上村川	1	1				1	
荒城川	1	1	1				
宮川	1	1				1	
高原川	1	1	1				
用水路	3	3	1			2	
池	1	1					1
合 計	36	45	13	1	3	11	17

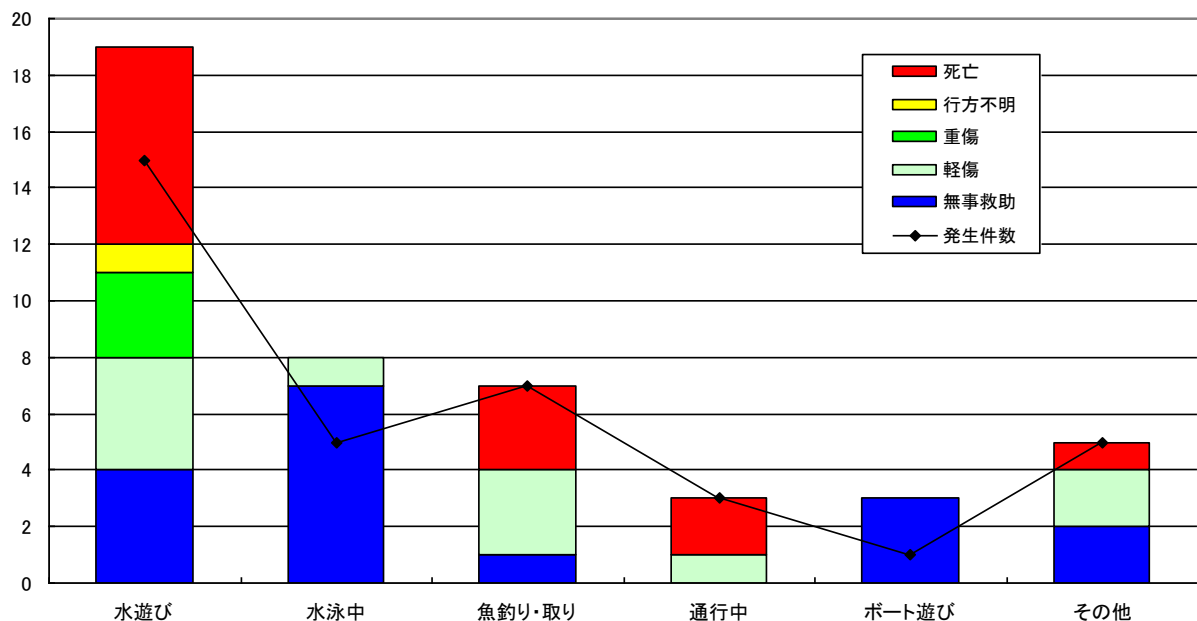


5 態様別発生状況

- 水遊び中・水泳中の事故が20件（前年比+10件）発生し、全体の56%にあたる。事故者27人のうち、死亡が7人（前年比+4人）であった。
- 魚釣り・魚取り中の事故が7件（前年比-6件）で前年より減少した。

[態様別発生状況]

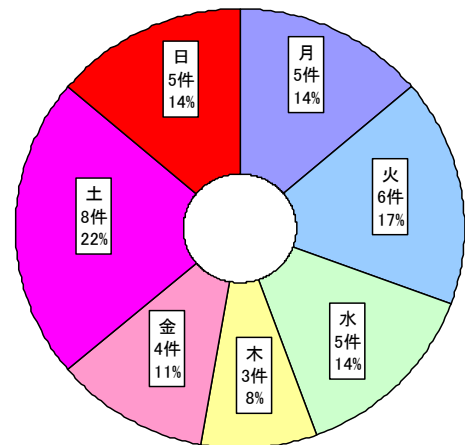
区分 態様別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
			死亡	行方不明	救出救助		
					重傷	軽傷	無事救助
水遊び	15	19	7	1	3	4	4
水泳中	5	8				1	7
魚釣り・魚取り	7	7	3			3	1
通行中	3	3	2			1	
ボート遊び	1	3					3
その他	5	5	1			2	2
合計	36	45	13	1	3	11	17



6 曜日別発生状況

- 土曜日、日曜日に発生した事故は合わせて13件となっており、全体の36%を占めている。
- 平日においては、木曜日がやや少ないものの、曜日による特徴はない。

[曜日別発生状況]

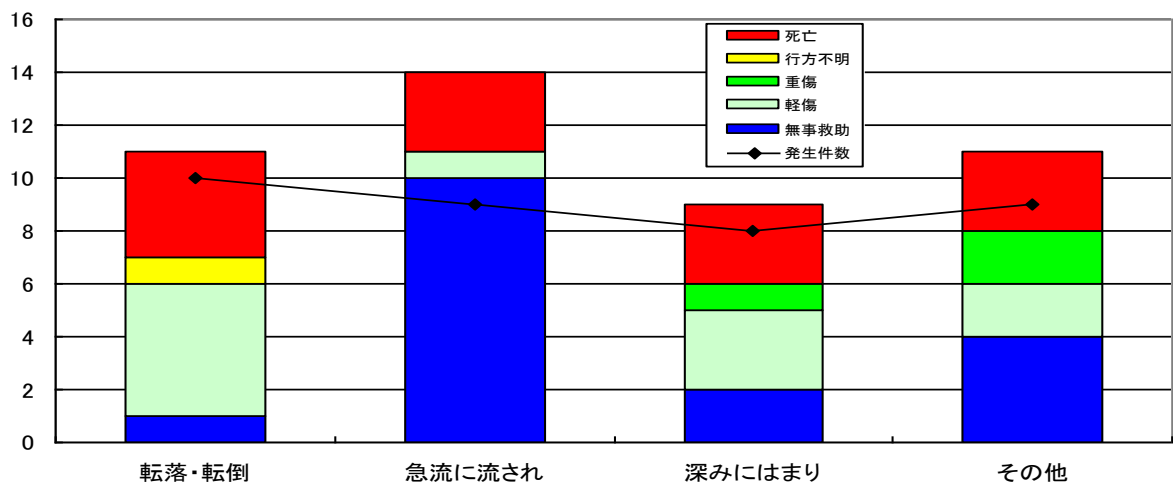


7 原因別発生状況

- 転落・転倒による事故の発生が10件（前年比-3件）と全体の28%を占めており、次に急流に流される事故の発生が9件（前年比-5件）と全体の25%を占めている。
- その他の原因では、橋や岩場等の高所から川へ飛び込む行為で、負傷する事故が目立っている。

[原因別発生状況]

区分 態様別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
転落・転倒	10	11	4	1		5	1
急流に流され	9	14	3			1	10
深みにはまり	8	9	3		1	3	2
その他	9	11	3		2	2	4
合計	36	45	13	1	3	11	17

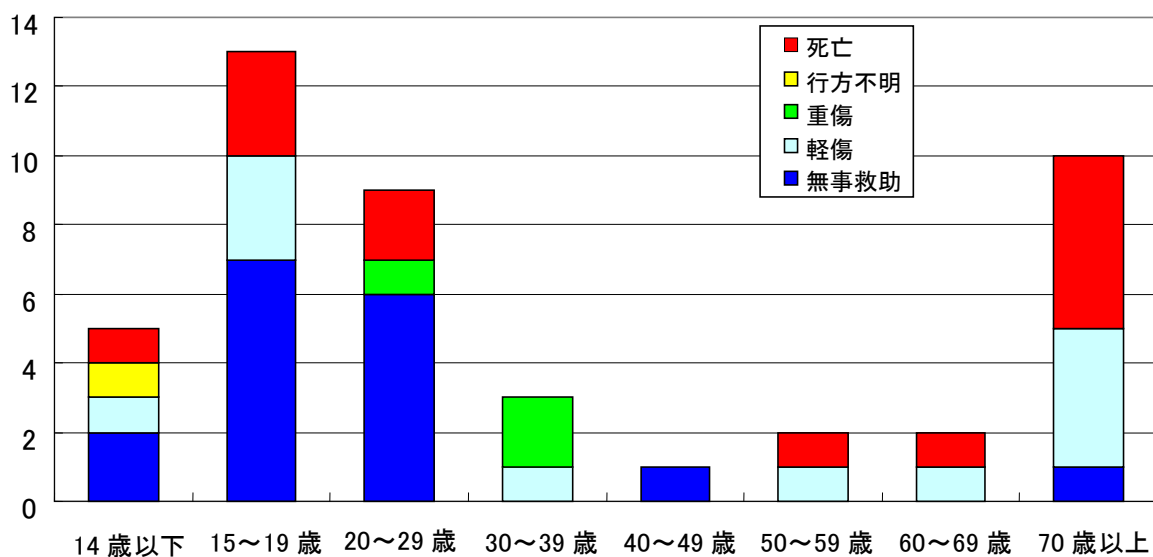


8 年齢別発生状況

- 15歳～19歳までの事故が13人（前年比+10人）と最も多く、全体の29%を占めている。
- 70歳以上の事故が10人（前年比-1人）で、全体の22%を占めており、依然として発生は多いものの、死亡は5人（前年比-5人）で、前年より減少した。

[年齢別発生状況]

区分 年齢別	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助		
				重傷	軽傷	無事救助
14歳以下	5	1	1		1	2
15～19歳	13	3			3	7
20～29歳	9	2		1		6
30～39歳	3			2	1	
40～49歳	1					1
50～59歳	2	1			1	
60～69歳	2	1			1	
70歳以上	10	5			4	1
合計	45	13	1	3	11	17



9 子ども（中学生以下）の水難事故発生状況

- 子どもの事故は、発生が5件（前年比－1件）、事故者数が6人（前年比±0人）であった。
- 事故者の内訳は、幼児が1人（前年比－2人）、小学生が3人（前年比＋1人）、中学生が2人（前年比＋1人）であった。

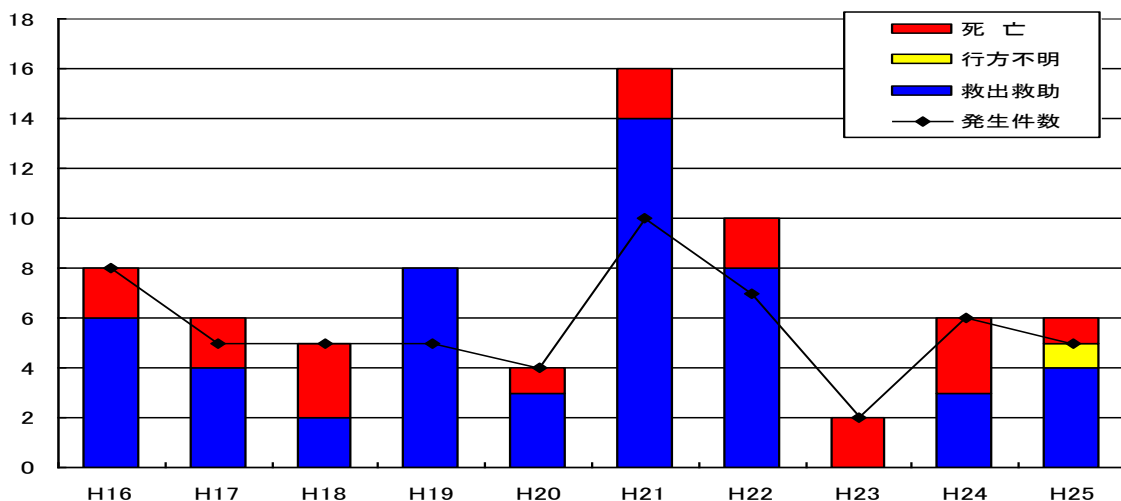
[子どもの態様別水難事故発生状況]

態様別	区分	発生件数 (件)	事故者数(人)			
			死亡	行方不明	救出救助	
水遊び中		2	3	1	1	1
水泳中		2	2			2
その他		1	1			1
合計		5	6	1	1	4

(注)その他は陸上での遊戯中の落水等

[過去10年間における子供の水難事故発生状況]

年別	区分	発生件数 (件)	事故者数(人)			
			死亡	行方不明	救出救助	
平成16年		8	8	2		6
平成17年		5	6	2		4
平成18年		5	5	3		2
平成19年		5	8			8
平成20年		4	4	1		3
平成21年		10	16	2		14
平成22年		7	10	2		8
平成23年		2	2	2		
平成24年		6	6	3		3
平成25年		5	6	1	1	4

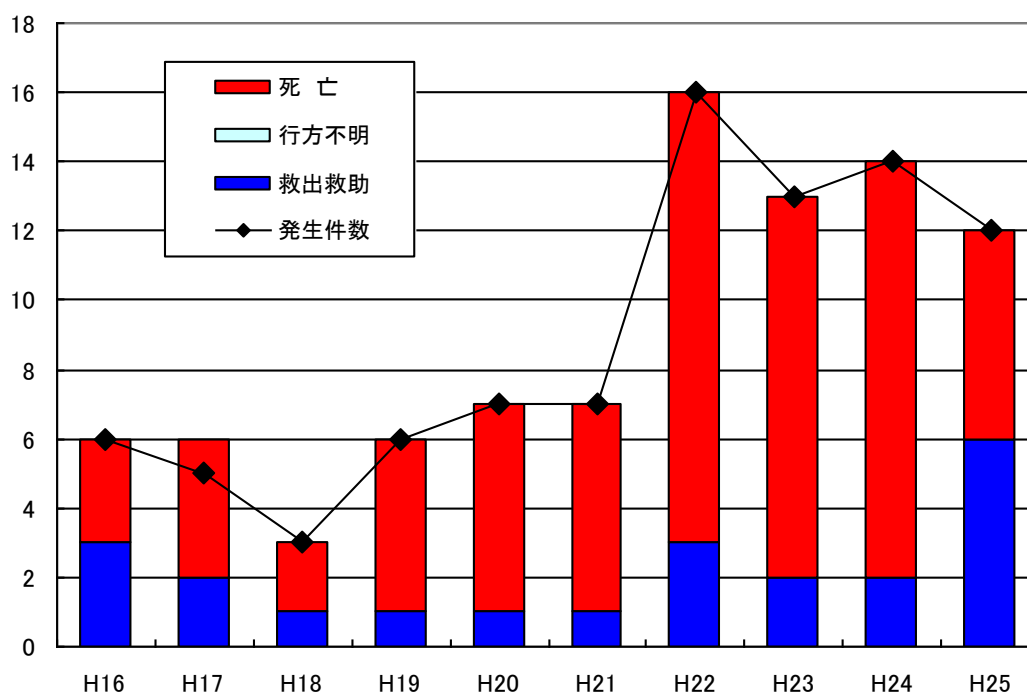


10 高齢者の水難事故発生状況

- 高齢者の（65歳以上）の事故は、発生が12件（前年比－2件）、事故者数が12人（前年比－2人）、うち死亡6人（前年比－6人）でいずれも減少した。
- 事故態様については、12件中、7件が魚釣り・魚取り（鮎釣り等）中の事故であった。

[過去10年間における高齢者の水難事故発生状況]

年 別	区 分	発生件数 (件)	事 故 者 数 (人)			
			死亡	行方不明	救出救助	
平成16年		6	6	3		3
平成17年		5	6	4		2
平成18年		3	3	2		1
平成19年		6	6	5		1
平成20年		7	7	6		1
平成21年		7	7	6		1
平成22年		16	16	13		3
平成23年		13	13	11		2
平成24年		14	14	12		2
平成25年		12	12	6		6



11 居住地別事故者数

- 事故者のうち、愛知県居住者が22人（前年比+12人）と最も多く、ついで岐阜県居住者が20人（前年比±0人）であった。

[居住地別事故者数]

区分 県別	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助		
				重傷	軽傷	無事救助
千葉県	1			1		
岐阜県	20	8	1		7	4
愛知県	22	4		2	4	12
三重県	1	1				
大阪府	1					1
合計	45	13	1	3	11	17

第2 水難救助活動の状況

1 出動状況

- 水難救助活動に、警察官が延べ730人、消防署（団）員が延べ2,369人出動した。
- 県警及び県防災のヘリコプターが、6件の事故に対し延べ26回、警察・消防等の舟艇が、7件の事故に対し延べ25回出動した。

区分 年別	発生件数 (件)	出動状況(人)		ヘリ出動		舟艇出動	
		警察官	消防	件数	回数	件数	回数
平成25年	36	730	2,369	6	26	7	25
平成24年	34	449	624	10	12	11	39
増減	+2	+281	+1,745	-4	+14	-4	-14

2 救助事例

日 時	場 所	状 況
7月15日（月）	山県市 武儀川	友人数名と川で遊んでいた男子高校生が、深みにはまり溺れ、友人等が助けようとするも、暴れて助けることができなかったため、友人等が大声で助けを求めたところ、付近でバーベキューをしていた男性が川に飛び込み、川底に沈んでいた高校生を岸に引き上げ救助したもの。
8月13日（火）	美濃市 板取川	川の対岸へ横断しようと泳いでいた男子中学生が、川の中央付近で溺れ流されていたのを、下流で釣りをしていた男性が発見、意識を失っていた中学生を岸に引き上げ、水を吐かせる等の応急措置を行うなどして救助したもの。

（注）水難事故発生時には、人口呼吸を一刻も早く実施することが、蘇生する確率を向上させる。

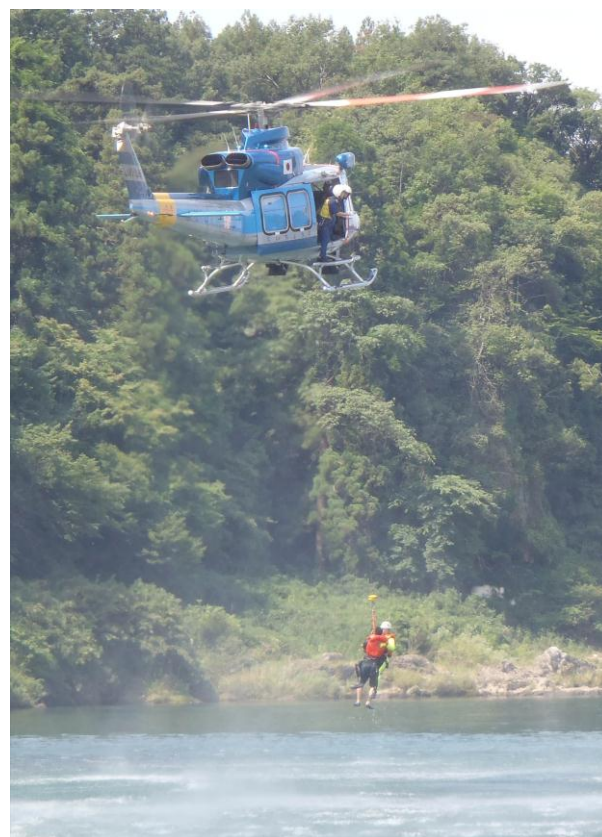
3 水難救助訓練実施状況

- 県内には、長良川、木曾川、揖斐川の三大河川をはじめ、ため池や農業用水などが数多く点在している。

各警察署では、水難事故に対して迅速かつ的確な救助活動を行うため、警察独自又は消防機関や県防災航空隊、警察航空隊と合同で水難救助訓練を実施している。



救急法訓練



警察航空隊との合同訓練

4 小型船舶操縦士の養成

- 水難事故の発生時において、舟を使った水難救助を迅速的確に実施するため、水難救助用の小型船舶が配備されている警察署や事故者の捜索等に当たる機動隊の警察官を対象に「二級小型船舶操縦士免許講習」を受講させている。



舟艇操縦訓練

第3 その他

1 水上バイク等の事故防止対策

- レジャーの多様化、アウトドアスポーツの普及により、河川の利用環境は変化してきており、遊泳者や釣り人等の第三者を巻き込んだレジャー事故の発生を防止するため、関係機関・団体と連携し、広報啓発用看板の設置や河川のパトロールを実施するなどの活動を推進している。
- 平成25年中は、水上バイク等による事故は3件発生し、3人が負傷している。

[事故概要]

- ・ 8月8日（木）羽島市内の木曽川で、男女2名が乗車した水上バイクに、他の水上バイクが衝突し、後部に乗車していた女性が負傷した。
- ・ 8月11日（日）美濃市内の長良川で、水上バイク乗車の男性1名が、急流に流され、水上バイクのバランスを立て直す際に負傷した。
- ・ 12月1日（日）羽島市内の木曽川で、ウェイクボードで遊んでいた男性がジャンプ後、着水した際の衝撃で負傷した。

[過去5年間の水上バイク等の事故発生状況]

区分 年 別	発生件数 (件)	事 故 者 数 (人)		
		死亡	負傷	救出救助
平成21年	2	2	1	1
平成22年	0	0		
平成23年	0	0		
平成24年	1	1		1
平成25年	3	3		3

2 水難事故防止広報活動

- 県下の警察署では、7～8月の夏期に、関係機関と連携し、河川などの危険箇所に対する安全点検やパトロールを行い、遊泳者、水上バイク利用者、釣り人などに対する事故防止広報や安全指導を行った。
また、交番・駐在所が発行するミニ広報紙や、テレビ、ラジオなどのメディアを利用した広報啓発活動を展開した。

- 岐阜中・岐阜北警察署では、8月4日にNPO法人長良川環境レンジャー協会員らとともに、長良川のより安全で快適な河川利用を図るため、河川利用者（水上バイク、バーベキュー、キャンプ、水遊び、水泳など）に対し、マナー向上のための広報啓発活動を行った。



河川利用者に対する広報（長良川）

- 揖斐警察署では、揖斐川町地内のオートキャンプ場において、揖斐土木事務所、揖斐消防署、揖斐川町役場と合同で、水難事故防止のカード入りティッシュ（岐阜県河川課作成）を配布し、水難事故防止を呼びかける啓発活動を行った。



安全パトロールの実施（粕川）

- 加茂警察署では、加茂郡内の自治体が設置する「飛騨川下流域水上安全・環境保全連絡協議会」が作成した水難事故防止チラシを、同郡内4町村の小・中学生、保育園の児童生徒、園児及び教職員に配布し、夏休みにおける水難事故防止を指導した。

- 下呂警察署では、飛騨川での水難事故発生に伴い、下呂土木事務所など関係団体と連携して管内の河川敷やキャンプ場で、「STOP! 水難事故」のカード入りティッシュを配布し、観光客や釣り人らに水難事故防止を呼びかける啓発活動を行った。



揖斐署・下呂署が配布したチラシ



加茂署が配布したチラシ